

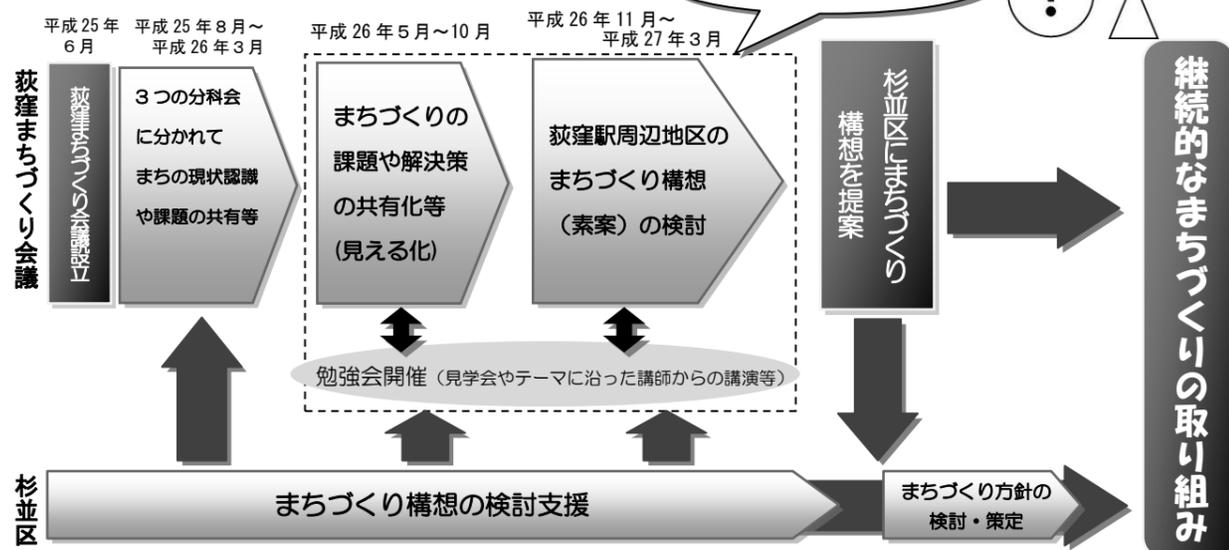
## 荻窪まちづくり会議とは？

荻窪まちづくり会議は、荻窪駅周辺（半径 500m程度を基本とした区域）を活動エリアとして、区内にお住まいの方、土地・建物をお持ちの方、営業されている方等の希望者により構成された開かれた組織で、平成 25 年 6 月に設立されました。荻窪駅周辺を活力ある安全で暮らしやすいまちとしていくために、自主的かつ継続的に活動を進めていきます。

### ●活動内容

- ・荻窪駅周辺のまちづくり構想の作成・提案
- ・区や関係機関と連携した具体的な取組みの企画・実施 等

### ●検討の流れ



### 平成 26 年度 荻窪まちづくり会議活動計画

- おおむね 1 カ月から 1 カ月半に 1 回のペースで分科会を開催するとともに、必要に応じて、事例見学等の勉強会を行っていきます。
- 平成 25 年度に検討を行った、まちの現状や課題等を踏まえ、まちづくり構想素案のイメージの共有や取りまとめに向けた検討を行っていきます。
- 荻窪まちづくり会議の活動を、検討区域にお住まいの方々等に周知するため、定期的にまちづくり通信の発行等を行っていきます。

第 3 回分科会にて、各分科会のリーダーとサブリーダーが決まりました！

### 各分科会のリーダー&サブリーダー

安全・安心 分科会	リーダー	白水 浩一さん
	サブリーダー	有馬 正史さん 能上 典男さん
にぎわい・活性化 分科会	リーダー	長田 茂さん
	サブリーダー	小澤 恵一さん 久世 佳代子さん
暮らしやすさ・文化 ・交流 分科会	リーダー	松葉 襄さん
	サブリーダー	田中 一恵さん 土屋 隆一さん

◆荻窪まちづくり会議は開かれた組織です。参加を希望される方や活動内容に関心のある方は、下記の問い合わせ先までご連絡ください！

問い合わせ先 〒166-8570 杉並区阿佐谷南 1-15-1  
都市整備部 まちづくり推進課 荻窪まちづくり担当  
TEL : 03-3312-2111 (内線 3382) FAX : 03-3312-2907

# 荻窪まちづくり通信

発行  
荻窪まちづくり会議

第 2 号

平成 26 (2014) 年  
5 月

## 荻窪まちづくり会議

# 第 3 回総会を開催しました！



平成 26 年 4 月 19 日 (土)、旧若杉小学校・体育館において、荻窪まちづくり会議第 3 回総会を開催しました。総会の開会にあたり、荻窪まちづくり会議の代表である今村国治さんが、去る 4 月 8 日にご逝去されたことが伝えられ、出席者全員で黙祷を捧げました。ここにあらためて、今村代表へ心から哀悼の意を表するとともに、謹んでそのご冥福をお祈りいたします。

第 3 回総会では、副代表を議長として進められ、平成 25 年度の活動報告、平成 25 年度会計及び会計監査報告が行われました。続いて、平成 26 年度の活動計画(案)、及び平成 26 年度予算(案)について審議を行い、いずれの議案も可決されました。平成 26 年度の活動計画の概要は、4 ページをご覧ください。

なお、この荻窪まちづくり会議について、「杉並区まちづくり条例」に基づく協議会としての認定を受けるべく、その申請をすることについても審議を行い、議案のとおり可決されました。これを受け、今後速やかに杉並区に対して認定申請を行ってまいります。

また、この認定申請などを踏まえ、早期に後任の代表を選出するのがよいという意見があり、5 月 24 日に臨時総会を開いて、代表選出を行うことになりました。

今後も、荻窪まちづくり会議の活動の様子については、「荻窪まちづくり通信」で定期的にお伝えしていきます。

## 役員からひとこと ~毎号リレー形式で役員からのひとことをお伝えします~

『第 3 回総会の報告と今後の活動について』 【副代表】多田 正範さん (応募区民)

4 月 19 日に第 3 回総会が開催され、まちづくり条例に基づく協議会認定の申請手続きに進めることになりました。会員皆様と関係者様のご協力ありがとうございました。認定となると活動結果を区の行政に反映させる道筋ができたこととなります。

今後は協議会での具体的なアイデア作りが主な活動となります。最低でもさらに 1 年以上かけて議論を重ね、政策に反映できるまでには、さらに 1 年ほどかかる見通しです。そう考えると、現在はまだ道半ば、登山でいえば 4 合目といったところでしょうか。引き続き皆で知恵を出し合って、先に進んでいきたいと考えています。



# 荻窪まちづくり会議 各分科会の活動内容をご紹介します！

## 安全・安心 分科会

## にぎわい・活性化 分科会

## 暮らしやすさ・文化・交流 分科会

第3回分科会

日時：平成 25 年 11 月 30 日（土）  
午前 10 時～12 時 30 分

### テーマ【まち歩き】

- 南口ルート、北口ルートに分かれて、実際にまちを歩いてまちの現状や課題を確認した後、会場に戻りワークショップ形式でグループ討議を行いました。
- リーダー/サブリーダー選出（4ページ参照）



まちを歩いて現状や課題を確認！

### ◇まち歩きを踏まえた主な意見

- ・防災上危険となる木造密集地の課題やブロック塀対策が必要
- ・主要な生活道路等における道路交通環境の改善が必要 等

（参加人数：19人）

第4回分科会

日時：平成 26 年 1 月 25 日（土）  
午後 2 時～4 時

### テーマ【荻窪駅周辺の道路・交通環境のあり方を考える】

- 道路交通環境をテーマに課題等を整理し、路線を絞り込んで課題の検討や解決の方向性についてワークショップ形式で討議を行いました。

### ◇討議を踏まえた主な意見

《路線別道路交通状況》

- ・青梅街道：人と自転車が混在して危険
- ・青梅街道から旧若杉小学校へ向かう道路：防災上重要な路線だが、狭い
- ・大田黒公園周辺や各商店街：交通規制が必要（一方通行、時間規制など）
- ・南口バス通り：車の交通量が多いが、歩道がなく危険
- ・駅周辺：半径 200mの範囲内は自転車を押して歩く、あるいは時間帯通行規制を設ける 等

（参加人数：18人）

第5回分科会

日時：平成 26 年 3 月 8 日（土）  
午前 10 時～12 時

### テーマ【地域における防災、防犯、暮らしの安全安心のあり方を考える】



- 地域における防災、防犯、暮らしの安全安心のあり方について、各々のアイデアを持ち寄り、ワークショップ形式で討議を行いました。

### ◇討議を踏まえた主な意見

《防災・防犯対策》

- ・木造密集地域における初期消火の徹底や出火ゼロ運動への取り組みを行う
- ・ブロック塀の倒壊を防ぐために、生垣の推進をする
- ・駅前天空広場を設置する等、オープンスペースを確保する必要がある
- ・避難場所、井戸水、道路の高低差（善福寺周辺など）などのマップを作成する
- ・防災備蓄倉庫の場所を明確にしておく
- ・敷地面積の最低限度の規制を導入する等の取り組みで狭小な住宅地の解消を図る

《地域コミュニティ》

- ・ラジオ体操の実施や通学時の見守りをするなどで、地域間の繋がりをつくる 等

（参加人数：19人）

《今後の課題》  
災害時には、マンションを含めたコミュニティ連携した「共助」が大切!!!情報を能動的に取る必要があります!!!

日時：平成 25 年 12 月 1 日（日）  
午前 10 時～12 時

### テーマ【にぎわう場所、ふれあう場所】

- 「商業的なにぎわいを考える場所」と「住宅地としての落ち着いた、住民コミュニティの活性化を考える場所」を区分し、それぞれの場所のあり方についてワークショップ形式で討議をし、整理を行いました。
- リーダー/サブリーダー選出（4ページ参照）



### ◇討議を踏まえた主な意見

- 《商店街》・駅前に賑わいを集約させる
  - ・商店街は各々が個性を持たせ魅力向上を図る
- 《住宅地》・空き家や小学校などを活用し、多世代が交流できる場を設ける 等

（参加人数：20人）

日時：平成 26 年 1 月 26 日（日）  
午前 10 時～12 時

### テーマ【にぎわいを深めるために】

- 荻窪の商店街におけるにぎわいづくりに向けた取組みについて、商店街関係者の方からお話を伺いました。
- 荻窪駅周辺の商業地・商店街におけるにぎわいを深めるための具体的な取組みについて、各々のアイデアを持ち寄り、ワークショップ形式で討議を行いました。

### ◇討議を踏まえた主な意見

- ・一過性ではなく、恒常的に人が集まる賑わいの創出をする
- ・まち歩きや「街コン」などの共通イベントなどを通じて、居住者が“荻窪”を再発見するようなイベントを企画していく
- ・子どもを意識したイベントや外から人を呼び込む工夫を模索する
- ・駅から離れた商店街を充実させる方法の検討をする 等

（参加人数：22人）

日時：平成 26 年 3 月 9 日（日）  
午前 10 時～12 時

### テーマ【住宅地コミュニティを元気に】



- 荻窪の“住宅地におけるコミュニティづくりに向けた取組み”について、町会長の方からお話を伺いました。
- 荻窪駅周辺の住宅地におけるコミュニティの活性化のための具体的な取組みについて、各々のアイデアを持ち寄り、ワークショップ形式で討議を行いました。

### ◇討議を踏まえた主な意見

- ・既にある取組み（クラシック、コンサート等）をより発展させていくために、荻窪周辺での取組み状況の調査をし、まち歩きやイベントなどの推進委員を立ち上げる（例えば、年一回は南北合同で取組む、年間を通じて身体を動かせるイベントの開催を企画する等）
- ・空き家を改装するなどして、地域に繋がりを持たせるための交流カフェを開設する
- ・“荻窪”という資産を高めるための特徴を考える 等

（参加人数：16人）

《今後の課題》  
・地域活動への参加者の拡大（働き盛りの男性等）  
・いざというときの助けあいの準備 等

日時：平成 25 年 11 月 30 日（土）  
午後 2 時～4 時 30 分

### テーマ【まち歩き】

（参加人数：23人、傍聴：1名）

- 南口ルート、北口ルートに分かれて、実際にまちを歩いてまちの現状や課題を確認した後、会場に戻り、ワークショップ形式でグループ討議を行いました。
- リーダー/サブリーダー選出（4ページ参照）

### ◇まち歩きを踏まえた主な意見

- ・歴史文化資源が多くあるが、情報がわかりづらい
- ・休憩するベンチなどを設けて観光地として整備する
- ・人と自動車や自転車が混在している危険な商店街を整備する 等

まち歩きの結果を地図と写真で整理！



午後：平成 26 年 1 月 26 日（日）  
午後 2 時～4 時

### テーマ【荻窪駅周辺における文化・歴史の活用方策について】

- 文化・歴史を活かしたまちづくりに関する課題を共有し、取組の方向性やイメージについてワークショップ形式で討議を行いました。

### ◇討議を踏まえた主な意見

- ・どのような歴史資源があるのかを調査した上で、情報発信の方法を考える必要がある
- ・区で行っている情報発信（取組み）についてまとめる必要がある
- ・荻外荘や角川庭園などの資源を巡るルートづくりや、通りに名称をつけるなどによって、まちの魅力を高めていく
- ・まちのルールをつくり、まちの魅力をさらに高め、住民の意識を高める（例えば、みどりの保全や建築ルールを定める） 等

（参加人数：23人）

日時：平成 26 年 3 月 8 日（土）  
午後 2 時～4 時

### テーマ【暮らしやすい住宅地や地域の交流のあり方について】

- 住宅地の魅力の向上（みどりや景観等）、地域の交流促進（自主的な活動等）に関する課題を共有し、具体的な取組みの方向性やイメージについてワークショップ形式で討議を行いました。

### ◇討議を踏まえた主な意見

《住環境》

- [保全]・狭小宅地の増加による緑の減少傾向がある 等
- [促進]・建築を行う上でルールを定める
  - ・車道と歩道の区別がなく危険な場所があるので、色を分けるなどの対策をとる
  - ・地下道の拡張をすることで、ベビーカー等が通りやすくなる 等



《地域コミュニティ》

- ・生垣の共同管理を行う
- ・多世代交流ができる場所を整備する
- ・地域情報の提供の仕組みづくりをする（PR不足の解消、駅周辺に情報掲示板の設置等）
- ・町会の取組に関する情報収集・発信の方法を考える 等

（参加人数：18人）